

## 5G・IoTデザインガールプロジェクト 第5期

参加者  
募集

5G・IoT デザインガールプロジェクトとは  
“5G・IoT でどんなことができるか？”をデザインし、わかりやすくつたえる女子！  
社会や地域の課題をもとに、企業や自治体をつなげて、新たな価値を創出する女子！  
をキーワードに、その普及促進に取り組む女性の育成を目指す人材育成プロジェクト  
です。

活動内容	期間中5回のワークショップに参加していただきます。 有識者講演、先進事例講演による知見を深める INPUT、各チームでのワークにより地域課題解決に向け たソリューションをデザインしコンセプト発表をする OUTPUTを行います。
活動期間	2021年10月25日～2022年3月20日まで
活動場所	オンライン（Zoomを使用）
参加資格	企業や自治体をつなげ、新しい価値を創出したいという 思いがあり、企業・団体に所属する女性であること ※参加者は各団体、企業からの推薦によって参加登録い たいただきます。一団体・企業あたり一名の登録とします。
募集人数	約40名
募集期間	2021年9月1日(水)～2021年9月30日(木)
募集方法	下記URLよりお申込みください URL: <a href="https://5gdesigngirl.jp/">https://5gdesigngirl.jp/</a>
主催	ローカル5G普及推進官民連絡会

奮ってご応募ください！詳しくは実施要領をご覧ください

## 5G・IoT デザインガールプロジェクト 第五期 募集要領

以下の通り 5G・IoT デザインガールプロジェクト第五期を募集いたします。

### 1. 5G・IoT デザインガールプロジェクトとは

「5G・IoT でどんなことができるか？」をデザインし、わかりやすくつたえる女性！  
「企業や自治体をつなげて、新たな価値を創出する女性！」をキーワードに、その普及促進に取り組む女性を育成すべく発足した人材育成プロジェクトです。



### 2. 5G・IoT デザインガールプロジェクト参加資格・募集概要

5G・IoT デザインガールプロジェクトに参加する女性のことを「5G・IoT デザインガール」と呼びます。5G・IoT デザインガールの参加資格と募集概要は以下のとおりです。

#### 【参加資格】

- 企業や自治体をつなげ、新しい価値を創出したいという思いがあり、企業・団体に所属する女性であること  
※参加者は各団体、企業からの推薦によって参加登録いただきます。一団体・企業あたり一名の登録とします。参加登録申し込みには、責任者を記載いただきます。また、過去にIoT デザインガールであった方（卒業生と呼びます）の参加は原則できません。
- 約半年間の活動に継続して参加できること
- 今年度はオンラインで実施します。オンラインで受講できる環境の用意をお願いします。  
ワークショップでは、「Zoom」で受講しながら、チームごとの検討には、オンライ

- ンホワイトボード「Miro」を併用します
- オンラインワークショップ（5 回開催）の参加と、ワークショップ各回の間での自主作業が可能なこと
  - ワークショップ終了後、検討成果レポートを配属グループにて共著可能なこと

**【募集期間】**

2021 年 9 月 1 日(水)～2021 年 9 月 30 日(木)

**【活動場所】**

オンライン（Zoom を使用）

**【募集人数】**

40 名程度（※申込者多数の場合は、募集を締め切らせていただきます）

**【応募方法】**

下記 URL よりお申込みください

5G・IoT デザインガールプロジェクト 第 5 期申し込みフォーム

<https://5gdesigngirl.jp/>

**【 主 催 】**

ローカル 5G 普及推進官民連絡会

**3. 5G・IoT デザインガールプロジェクト活動内容**

- 5G・IoT デザインガールプロジェクトの活動は 2021 年 10 月から 2022 年 3 月まで **半年間継続**して行われます。5G・IoT デザインガールは **約半年の活動に通して参加する必要があります。**
- 開催時間は基本的に毎回 13:00～17:30 とし、前半（14:30 前後まで）は有識者による講演、後半はテーマに沿ったグループワーク等とします。
- 5G・IoT デザインガールは初回に 1 チーム 5、6 名程度のチームに配属されます。半年間このチームで作業を進めます。最終的に各チームで地域課題解決に向けたソリューションをデザインしてコンセプト発表を行い、発表内容をレポートとして提出願います。
- 約半年の間に 5 回のワークショップを開催します。ワークショップ各回前半は、5G・IoT、経済、法律、デザイン思考などの第一線で活躍する有識者などからの講演を聴講する「インプット」を実施し、5G・IoT などの最新技術動向や、社会課題への関心を深めます。後半は、参加者自らが考えて発表を行う「アウトプット」として半年間をかけたコンセプトデザイン作業をチームで実施して頂きます。

※会員同士のコミュニケーションには、Slack を利用します。  
 ※ワークショップには、Miro(ミロ)を活用します。



➤ 現在予定されている日程は以下の通りです。

回数	日程	INPUT（講演予定者）	OUTPUT
第1回 10月25日		大阪大学先導的学際研究機構 教授 栄藤稔 スタンフォード大学 創薬・創医療機器開発機構所長 西村俊彦	チームビルディング テーマ検討ワークショップ
		グループ作業①	
第2回 11月17日		東京大学大学院経済学研究科 教授 柳川範之 HIROTA DESIGN STUDIO INC. 代表取締役 廣田尚子	システムデザインワークショ ップ (目的・問題・価値の検討)
		グループ作業②	
第3回 12月 調整中		東洋大学情報連携学部教授・情報連携学部長 東京大学名誉教授 坂村健 東京大学大学院法学政治学研究科 教授 宍戸常寿	中間発表 システムデザインワークショ ップ (コンセプトの検討)
		グループ作業③	
第4回 1月12日		東京大学大学院工学系研究科 教授 森川博之 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主 幹研究員 砂田薫	5G インプット システムデザインワークショ ップ
		グループ作業④	
第5回 2月21日		一橋大学 名誉教授 野中郁次郎 東京大学先端科学技術研究センター 教授 西成活裕	最終発表会 発表コンペティション
		レポート作成期間 2月21日～3月20日	グループで分担し発表内容を レポートとして整理

✓ グループ作業①～④は各グループでの自由作業となります。最終発表に向け、作業分担を行い資料作成など実施していただきます。

- ✓ 多くのグループが独自にミーティングを開催したり、必要に応じて視察(オンライン等)やヒアリングなどを実施したりしています。自由参加ですが、一定の作業負荷が発生することを了承ください。また、勤務時間外の作業に依存しすぎないように、所属団体、企業各位には作業時間確保にご配慮をよろしくお願いいたします。
- ✓ どの程度の作業時間を確保するか、視察等の活動を行うかについては各グループの独自判断に依存します。グループ内で協議のうえ決定してください。集合性のミーティングが難しい場合に備えてSNS(Slack)を準備しています。掲示板による議論やファイル共有などが可能ですので、積極的にご活用ください。
- ✓ 第五回の発表終了後、発表内容をレポートしてまとめ提出をお願いします。レポートの執筆はグループ内で分担して行ってください。目次、記載内容などは事務局からガイダンスいたします。

#### 4. 注意、免責事項

5G・IoT デザインガールプロジェクト（以下、「本プロジェクト」という）参加応募者は、以下の事項に同意いただいたものとみなします。

##### 1 成果物の著作権等

本プロジェクトにおいて参加者が作成した文章、スケッチ、図、写真、音声、動画、その他一切の成果物（以下「成果物」といいます）に関する著作権（著作権法第 27 条および第 28 条の権利その他の権利を含みます）、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産権（それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利も含むものとし、以下、合わせて「知的財産権」といいます）その他一切の権利は、作成した参加者自身に帰属します。ただし、本プロジェクト終了時に合理的な方法により連絡が取れない参加者は、成果物に関する知的財産権その他一切の権利を放棄したものとみなします。

ただし、最終発表会合に提出した発表資料については第 4 項の通りとします。

##### 2 アイデア

本プロジェクトにおいて参加者が提供したアイデア（コンセプトおよびノウハウ等を含みます）は、そのアイデアを提供した参加者から第 3 項に定める申出および参加者による権利化がなされないかぎり、人類の共有財産（パブリックドメイン）として、他の参加者を含めた第三者が、無償で自由に利用することができます。

##### 3 終了後の整理

第 2 項、第 4 項に定める共有に関して特別の取扱いを希望する参加者は、本プロジェクト終了後 7 日間以内に主催者に申し出を行い、その対応について協議するものとします。

#### 4 公開

主催者、本イベントを共催、協力した者、ゲスト及び講師（以下「主催者等」といいます）は、広告宣伝または研究目的のために、本プロジェクト実施状況を記録した写真、音声、動画等をウェブサイト（SNSを含む）やチラシ、パンフレット等の宣伝販促物に掲載する等、公開することができます。

また、参加者が作成し審査発表会に提出した発表資料について、広く地域課題解決の発展に資するため、主催者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際（CC BY）に従い、公開することができます。参加者は、発表資料の作成において他の資料からの引用その他の行為を実施するに際して、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際（CC BY）での公開に抵触しないよう確認その他必要な処置を講じるよう努めるものとします。

ただし、権利を有する参加者から、第3項にしたがって成果物に関する情報を公開しないよう申出があった場合には、主催者等は成果物の公開を延伸する等、参加者の権利化のために適切な措置を講じるよう努めるものとします。

#### 5 参加者の秘密情報

参加者は、第2項から第4項までに定める本プロジェクトにおけるアイデアおよび成果物の取扱いを十分に理解したうえで、秘匿しておきたい秘密情報を本プロジェクトにおいて提供しないようご注意ください。ただし、参加者がそのような秘密情報を本プロジェクトに対し提供することを希望する場合には、事前に主催者に通知し、その対応について協議するものとします。

#### 6 勧誘行為の禁止

ワークショップ開催会場その他、本プロジェクトに関連する場所において、勧誘行為またはそれに値する行為は禁止とします。

#### 7 権利侵害の禁止

参加者は、本プロジェクトにおける制作活動に関し、法令および公序良俗に違反せず、また、第三者の知的財産権その他一切の権利を侵害してはならないものとします。

また、各種視察、ヒアリング等の実施に際して参加者は視察、ヒアリング先等の知的財産権その他一切の権利を侵害してはならず、故意または過失により視察、ヒアリング先等になんら損害を与えないよう最大限の注意をするものとします。

#### 8 費用負担

本プロジェクトの参加費用は無料とします。ただし、ワークショップ参加やヒアリング実施等に係る旅費・交通費等の実費は参加者の負担とします。また、ワークショップ実施後の有志による交流会等に係る会費等は自己負担とします。

## 9 免責

本プロジェクトに参加中の事故により参加者が生命身体もしくは財産上の損害を被った場合、その損害は参加者自身が負担し、主催者に何ら請求してはなりません。ただし、主催者にその損害の発生について故意または重過失が存在する場合はこのかぎりではありません。

ワークショップ時間外のグループ活動、各種視察、ヒアリング等の活動における事故等の損害も上記に準じます。

## 10 責任

参加者が以上の各項の定めに違反し、主催者または第三者に対し損害を与えた場合は、自らの責任と負担によりこれを解決し、主催者に対し何ら負担をさせず、損害の賠償等を請求しません。

本件に関するお問い合わせ先

5G・IoT デザインガール事務局

info(アットマーク)5gdesigngirl.jp